



# つなぎあつて元気に

## 大牟田夏祭り「大蛇山」



「ドンドンドン」「ジャジャリコジャン」町のあちろちろから元気な太鼓と鐘の音が響いてきました。おおむた夏祭り「大蛇山」が近づいて来たことを実感する音です。子ども達と郷土大牟田について学習したことを思い出します。(総合的な学習の時間)子ども達の殆どが、「郷土大牟田が大好き」と答えました。また、大牟田の自慢として多かった意見が、「自然が多いこと」と「大蛇山祭り」でした。いよいよ、おおむたっ子の大好きな暑くて熱い大牟田の夏・本番です。

## 男女共同参画週間 6月23日～29日

「男女共同参画社会基本法」が平成11年6月23日に施行されました。この日を記念して6月23日から一週間を「男女共同参画週間」と定められています。男女が社会の対等な構成者として、その個性と能力を十分発揮することができる男女共同参画社会の実現が目指されています。啓発のため国や県、自治体ではいろいろな取り組みが行われました。大牟田市では、29日から7月3日まで女性問題学習会オオムタの皆さんによる共同参画標語入選作が庁舎玄関に展示されました。



「参画で家族のゆとり見え始め」  
(江崎アツ子)

## 平山光子後援会

事務所 大牟田市原山町1-5  
0944-53-1661  
自宅 大牟田市倉永1651  
0944-58-1252  
メールアドレス mitsuko2007@tng.bbq.jp  
ホームページ www.hirayama-mitsukonet

## 六月議会が終了

### 意見書可決

請願を受け私の方から提出した「女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書」と「教育予算拡充を求める意見書」が可決されました。

「女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書」は条約を有効なものにするために1999年に国連総会で採択され、今日すでに96カ国が批准しているものです。自民党議員団の反対はありましたが賛成多数で可決されました。

「教育予算拡充を求める意見書」は、昨年に続き今回も全会一致で可決されました。

### 今議会で可決された主な内容

- 一般会計補正予算(主に国の補正に伴うもの)
- 妊婦健診の助成費(公費負担を14回までに)
- 緊急雇用対策費(4事業に8人の雇用)等
- 条例 地方税法の一部改正に伴う条例改正(介護納付金の課税限度額)等
- 議案 財産の処分(用地売却)等



## 市議会のインターネット中継開始

大牟田市 市議会 インターネット議会中継で検索できます。

新たな構成で後期スタート

## 平山光子は 次の委員会で活動します

- 常任委員会
- 教育・厚生委員会
- ・ 社会教育委員会
- ・ 学校通学区域審議会
- ・ スポーツ振興審議会
- 特別委員会
- 議会改革特別委員会
- 議会報編集委員会

# 光子の部屋

2009夏号

## 活動報告

**市政報告会**（八尻町公民館） 4月11日

3月議会一般質問の報告会を行いました。校区の行事と重なって参加は少なかったのですが、率直な意見交換ができました。



野田国義さんも衆議院議員候補に参加されました。

二〇〇八年女性議員ネット  
木町まちづくり役員の方と  
地元農業者の視察



**福岡県女性議員ネット総会** 5月9日

県内女性議員が超党派で集まり学習しています。先輩議員の皆さんから女性ならではの視点で提言がされ、勉強になります。今年は事務局長を務めます。



奈良県新公会堂は能舞台

**市町村議員研修会**（奈良）5月19日～20日

地方分権改革の沿革と背景、道州制をめぐる問題点、自治体の予算・決算、歳入（財源）・歳出（経費）、地方財政の役割等、地方自治の基礎を学びました。



福退教フラダール  
華麗に(?)デビュー

**福退教・福教協支部総会** 5月28日

87名の出席で今年も盛大に行われました。80歳以上の先生方も多数参加され、たくさんの元気をいただきました。懇親会では、福退教フラダンスサークル（平山も参加してます）も菊次恵美子先生ご指導のもと一年間がんばった成果を発表しました。

**福教組大会**（宗像市） 6月13日～14日

今年もたくさんの機動隊に守られて開催されました。免許更新制度の本格実施などによりますます多忙に追い込まれて、ぎりぎりで頑張っている先生方の実態が報告されました。現職死と（昨年度は県下で約30人も）健康障害も増え続けています。しかし、若い世代の加入が進んでいる支部や分会でまとまって提言シートなどの取り組み、改善を求めた報告など元気が出る発表もありました。





# つなぎあつて元気に

平山光子さんの

更なるステップアップに期待！

後援会長 江崎アツ子

六月議会が終わって平山さんと久しぶりにあった。相変わらずのバイタリティーで、会が終わったその足で次の議会質問のために調査に行くという。



皆様方の大きなご支援によって平山さんを議会に送っていただいていたから二年が過ぎた。

平山さんはこの二年間、教育、子育て、まちづくり、地域の問題など、様々な課題について直接調査し、現場の声を聞き、それをもとに議会質問に立って、市長を始め、担当課の姿勢を追求してきた。

すぐに改善できなくても「検討する」という言葉を引き出し次につながるようにしていく。こんな議会質問によって、今まで気づけなかった問題点を行政も議員も学ぶことになり、全体の意識が高まることになる。市議としての活動は一期目の半分が終わったばかりである。今後、鋭い市民の目線で、安心して住みやすいまちづくりへの提言を期待したい。

皆さまの率直なご意見をいただき、市議として更に大きく育てていっていただきたいと願っております。

## 平山光子後援会

事務所

大牟田市原山町1-5  
0944-53-1661

自宅

大牟田市倉永1651  
0944-58-1252

メールアドレス

mitsuko2007@tng.bbq.jp

ホームページ

www.hirayama-mitsukonet

## 議会改革特別委員会が新設

### なぜ今 議会改革

全国的に議会改革の論議が活発です。大牟田市でも特別委員会で議論していくことになりました。真の住民自治に向け、議会の活性化や透明化が図られ、市民に身近な議会になることが求められています。



### その背景は、地方分権

集権型システムが行き詰まり地方分権型社会へ、これは世界の潮流でした。日本でも、二〇〇〇年「地方分権一括法」が施行されました。しかし、税源も地方へ移し連帯型分権社会を目指した北欧と比べ、日本では、税財源も権限も地方へは殆ど移されず、歳出削減を地方に競わせる改革（競争型地方分権改革）が行われました。この間、中央の無駄の見直しはあまり進みませんでした。

### 連帯型地方分権社会のキーワードが住民自治

未曾有の経済危機に陥って、今後、産業構造も社会も大きく転換していくと思われれます。無駄を徹底してなくすには、地方分権を進めなければなりません。そして、行政と共に住民が自らの意志と責任のもと地域作りをしていく住民自治が重要になります。住民の代表である議会の責任は一層重くしつかりと機能するために開かれた議会となることが求められています。



# 光子の部屋

2009夏号

## 教育NOW

### 拡がる35人学級!

嘉麻市では今年度、県内で初めて全小学校の児童数を35人以下（中学校は加配教員を配置）としました。市の独自予算で非常勤講師を雇用し、6年生や中学1年生を35人以下とする自治体も増えてきています。（福岡市など）どの自治体も財政の厳しさは同じ、トップの教育費への思いの違いが表れています。



### 学力テストは誰のため？ 参加は自治体の判断のようですが・・・悉皆！

4月21日、「全国学力・学習状況調査」が今年も行われました。2年間実施して、応用力や学ぶ意欲に課題があることや、生活習慣と学力に相関があることなど、日本の子どもたちの学力の実態（現場の教師は以前から訴えてきたことですが）は明らかになっています。「練習問題をするように管理職に言われた」「宿題がびっくりするほど多い」など、点数という矮小化された学力観に歪められつつある学校の実態が、保護者や現場の教師から報告されています。

学力テストのためには約60億円もの莫大なお金が使われますが、教員増や教育環境整備のための予算は先進諸国の中で最低のままです。一体何のために学力テストを続ける必要があるのでしょうか。参加の判断は自治体に任せられています。地教委は意義をしっかりと検討すべきではないでしょうか。

### 教育基本法の改悪により、ますます追い込まれている学校

現場からは様々な反対の声が上がりましたが、2006年12月、教育基本法の改正（改悪です）が、十分な議論もなく数の力で強行採決されて、2007年6月には関連三法案（学校教育法、教員免許法、地方教育行政法）が変えられました。そして、懸念されていたようにますます協働体制が壊され、孤立化し、多忙に疲弊し、定年を待たずに退職していく教職員が増え続けていることが、福教組大会や支部総会で報告されました。

本来はチームである学校教職員が、互いに競わされ、狭い基準で評価されていけば、同僚のことどころではなくなり協力し合えなくなるのは目に見えています。こんな状況で先生方は子ども達に、協同・連帯の大切さを教え、互いの人権を尊ぶことを指導し、将来の夢や希望を語るができるのでしょうか。

学校への管理を強めている教育行政の本来の仕事は、子どもたちの「豊かな学び」のために条件整備を行うことであるはずですが。

社会も教育も、中央集権から地域主権に、競争から連帯に、変わらなければこの国の展望は見えません。

